

料金計算機 Sirius-1
取扱説明書

株式会社 東阪通商

—目次—

1. 特徴	2
2. 機能	2
3. 動作	2
・空車	
・実車	
・支払	
4. タリフ	3
・賃走（走行）	
・割増・割引	
・待	
・待機	
・迎車（回送）	
5. 料金加算予告機能	3
6. 時刻変更	4
7. 日付変更	4
8. 出庫・帰庫	4
・出庫操作	
・帰庫操作	
9. 追加料金	5
・加算操作	
・減算操作	
10. 定額料金	5
11. W/S（外部表示器）	5
12. 機能	5
13. 明るさ調整	5
・料金表示部の明るさ調整	
・ボタン操作部の明るさ調整	
14. 累計指数	6
15. 仕様	7
16. 保証内容と期間について	7
17. その他	7

1. 特徴

- ・ 距離制・時間制・時間距離併用制の国土交通省推奨の料金制に対応しています。
- ・ その後の料金制は5段階の設定が出来ます。
- ・ 待と待機の時間料金制は2段階の設定が出来ます。
- ・ 距離計算または金額計算の割引・割増が2種類設定できます。
- ・ 追加料金の計算機能で加算金額、割引金額が入力できます。
- ・ 営業中は、加算金額を料金額表示の上段に表示します。
- ・ 支払に操作すると料金と追加金額を合算します。追加料金を分離表示することもできます。
- ・ 表示部にはフルカラーグラフィックを採用し色による視認性に優れています。
- ・ 高輝度LEDによる背照明式液晶を採用し、明るさ調整が可能で夜間で見づらくなることはありません。
- ・ 使用頻度の高い、実車・支払・空車ボタンを大型化することによって、操作性の向上をはかりました。
- ・ 営業になってからの距離、時間、または料金が加算されるまでの距離・時間が表示できます。
- ・ 料金が加算される予告機能を搭載し、棒グラフで一目でわかります。
- ・ 累計指数印字は必要項目を選択して印字します。
- ・ 一日の営業を時系列で印刷して日報作成を容易にします。
- ・ 累計指数の記憶内容は、主バッテリーを切っても、内蔵バックアップ電池により保持されています。
- ・ 薄型、軽量化を実現することにより、設置場所を選びません。
- ・ 外部インターフェースオプションを追加することにより将来の拡張性があります。

2. 機能

動作位置	空車、実車、支払
タリフ	空車、賃走、割増・割引、支払、迎車、待、待機
料金制	時間制、距離制、時間距離併用制
追加料金	加算、減算
割増・割引機構	深夜・早朝割増、障害者割引、金額演算割増・割引
時計機構	水晶発振 時計専用LSI
外部信号	外部接続機器用I/F、外部表示装置用信号

3. 動作

・空車

営業をしていない状態です。
時刻と累計指数を表示します。

・実車

営業している状態です。
設定されている料金制で料金表示が加算されます。
料金制は距離制・時間制・時間距離併用制が選択できます。

加算、減算の追加料金を入力できます。

設定されている時刻になると自動的に割増、または賃走に切替ります。(オプション)

・支払

走行料金と追加料金を合計して表示しています。

この状態で支払ボタンを押すと、料金金額と追加金額を、分別して表示します。

支払で走行すると、ブザーが鳴り、支払走行であることをお知らせします。

時間距離併用料金制では、距離制で走行料金の計算をして時間料金が止まります。

4. タリフ

・賃走（走行）

実車位置の賃走タリフで料金の計算をします。

時間距離併用の料金制では、時速が限界速度以下になると、距離計算から時間計算に切替わります。

＊ 限界速度とは、距離と時間の料金制で設定されます。

・割増・割引

実車位置の割増・割引タリフで、料を計算します。

賃走タリフの料金制に設定された、割増・割引分だけ距離、時間が短く計算されます。

・待

待の時間料金が計算されます。

走行や待機など違う料金制に操作して再び待に操作すると前回の時間料金を継続します。

待で走行すると、ブザーが鳴り、時間料金であることをお知らせします。

・待機

待機の時間料金が計算されます。

走行や待など違う料金制に操作して再び待機に操作すると前回の時間料金を継続します。

待機で走行すると、ブザーが鳴り、時間料金であることをお知らせします。

・迎車（回送）

迎車ボタンを押すと追加料金表示部に、設定された金額を表示されます。

支払位置になると運賃と合算され、運賃表示部に合計金額が表示されます。

合計表示されている時に、再度支払ボタンを押すと、割引前の運賃金額と割引金額を分別表示します。

以後支払ボタンを押す毎に合算、分別を繰り返します。

5. 料金加算予告機能

その後の料金加算予告機能は、残距離の目安を50m手前から予告する機能です。
残距離10mを棒グラフ1本を表示します。

6. 時刻変更

空車の状態で機能ボタンを押しパスワード入力状態で再度機能ボタンを押します。
時刻が表示されます。

取消ボタンを押して日付入力モードにします。

時が点滅するので数字ボタンで入力します。

▼ボタンを押して分が点滅するので数字ボタンで入力します。

▼ボタンを押して秒が点滅するので数字ボタンで入力します。

設定ボタンを押して時刻を設定します。

7. 日付変更

空車の状態で機能ボタンを押しパスワード入力状態で再度機能ボタンを押します。
時刻が表示されますので再度機能ボタンを押します。

年月日が表示されます。

取消ボタンを押して日付入力モードにします。

年が点滅するので数字ボタンで入力します。

▼ボタンを押して月が点滅するので数字ボタンで入力します。

▼ボタンを押して日が点滅するので数字ボタンで入力します。

設定ボタンを押して年月日を設定します。

8. 出庫・帰庫

・出庫操作

空車の状態で、空車ボタンを押しながら 累計ボタンを押します。

当日累計指数と時系列営業情報がクリアされます。

・帰庫操作

空車の状態で、累計ボタンを押します。

累計指数が表示された状態で、プリンター部の印刷を押すと、日計リストと時系列営業情報が
印字され、帰庫操作が終了します。

S Dカードが挿入されていると累計指数がS Dカードに記録されます。

9. 追加料金

追加料金は加算や減算を何度でも入力して合計の計算が出来ます。

・加算操作

営業動作の状態で加算ボタンを押します。

加算金額を 10 キーで入力して設定ボタンを押します。

料金上段に黄色で加算金額が合計されて表示されます。

・減算操作

営業動作の状態で加算ボタンを押します。

▼ボタンを押します。

減算金額を 10 キーで入力して設定ボタンを押します。

料金上段に黄色で減算金額が合計されて表示されます。

10. 定額料金

空車の状態で定額ボタンを押します。

定額金額を 10 キーで入力して設定ボタンを押します。

定額料金額が表示され距離及び時間料金計算は停止します。

11. W/S（外部表示器操作）

W/S ボタンを押すことにより、外部表示器の明るさを 3 段階変えることができます。

（通常、減光、消灯）

12. 機能

機能ボタンは各種設定や距離の調整を行います。

パスワードで管理されていて通常では使用しません。

13. 明るさ調整

・料金表示部の明るさ調整

空車の状態で空車ボタンを押しながら▲を同時に押します。

▲▼ボタンで料金表示部の明るさを調整します。

設定ボタンで調整を終了します。

・ボタン操作部の明るさ調整

空車の状態で空車ボタンを押しながら▼を同時に押します。

▲▼ボタンでボタン操作部の明るさを調整します。

設定ボタンで調整を終了します。

14. 累計指数

空車時に累計指数の表示しています。

累計ボタンを複数回押すことにより、追加料金表示部に累計指数の番号と累計指数を表示します。

番号	内容	単位
0	全走行距離	km
1	営業走行距離	km
2	営業回数	回
3	その後回数	回
4	迎車回数	回
5	当日売上金額	出庫リセット
6	当日税金係数	出庫リセット
7	当日税抜売上金額	出庫リセット
8	当日空車最高速度	出庫リセット
9	当日空車以外の最高速度	出庫リセット
10	売上金額累計	×10 円
11	税金累計	×10 円
12	追加料金累計	×10 円
13	回送金額累計	×10 円
14	待機 営業回数	回
15	待機 売上金額累計	×10 円
16	割引 1 回数	回
17	割引 1 金額累計	×10 円
18	割引 2 回数	回
19	割引 2 金額累計	×10 円
20	遠距離割増割引回数	回
21	遠距離割増割引金額累計	×10 円
22	営業時間	出庫からの時間
23	走行時間	分
24	割増割引営業時間	分
25	空車停車時間	分
26	空車以外停車時間	分

15. 仕様

製品名	Sirius-1
表示機構	TFT フルカラー液晶
器差調整	1 kmあたりのパルス数の設定
動作温度範囲	-10℃～+70℃
印字装置	2インチサーマルプリンタ
操作ボタン	メインボタン-5、機能ボタン-20
拡張ポート	SDカードスロット-1、UART-2、I/O Port-6
寸法	幅163mm、奥行き47mm、高さ63mm
電源電圧	DC +12V（動作電圧範囲+9V～+16V）
消費電流	空車時イグニッションキーOFF時 約80mA 動作時/印字動作時(MAX) 約130mA/2.3A

16. その他

外接機器(ウィンドサイン WSG-1)

- ・表示部を超える文字数の場合、文字が流れるようになり「道路運送車両の保安基準」に抵触しますので表示部の大きさを超えないように設定してください。